

やまと得々ミニ情報

第 69 号 2002 年 4 月 1 日

大和木材株式会社

〒891-1104 日置郡郡山町油須木 1299-1 番地

Tel 099-245-7048 Fax 099-245-7058

URL ; <http://www.synapse.ne.jp/~yamato-kk/>

Eメール ; yamato-kk@po.synapse.ne.jp

当社セミナー 多数のご参加有難うございました

去る 3 月 5 日に行いましたセミナーには、年度末のお忙しい時期にもかかわらず、25 名のご参加を頂き、誠に有難うございました。ご参加頂きました方には、何がしかの参考にしていただけたものと考えております。

当日は、当社のプレカット設備を導入の際いろいろとご助言を頂いた、宮川工機株の林部長と県森連の七搦課長にお話を頂きました。以下に、その内容を簡単にまとめてみました。

林部長はプレカット工場が増えている今、下記の 5 つのタイプに分けて考える必要があり、それぞれ利用の仕方が違う。どのタイプのプレカット工場と付合うかは、よく考えるべきだ。

1. スケールメリット追求量産タイプ。中堅ビルダー以上を対象と考える。
2. 地域密着タイプ。地域工務店を対象とし、総合支援提案運命共同体タイプ。
3. 産直住宅組合タイプ。国産材中心で組合方式。
4. ビルダー自社工場タイプ。大手ビルダーが自社向けだけを加工する。
5. 大手ビルダー中心直属工場タイプ。フランチャイズを主体にした大量生産タイプ。

また、改正建築基準法や品確法に伴い、性能表示が要求されるようになるが、プレカット工場がそれにどのように対応していくかが重要になる。そのためにはすべての情報がプレカット工場に集まるべきだ。高耐久や高精度、特に安定した精度を求めようになると、構造プレカットのみでなく、羽柄加工や合板加工が必要になり、それに基づいた構造計算も必要となるだろう。特に今後はトータルコストの削減と施行上の安全のためにも羽柄材加工と合板加工は重要な役割を果たすだろう。(床合板を施行してから 2 階や屋根を施行したり、野地合板の屋根上での裁断がなくなれば、落下の危険が少なくなる。e t c)

また、七搦課長は、杉の有効活用のために中小断面集成材の製造を始めた。集成材は目的の強度で揃えることができるほか、長さや大きさが自由に対応できる。また挽き板の状態で乾燥しているので含水率が均一で、後から寸法変化がおきにくく狂いも少ないなどの利点がある。接着性能も信頼がおけるようになってきたし、ホルマリンの心配もほとんどない。今後、是非利用していただきたい。

等の話がありました。

当社は地域密着タイプのプレカット工場として、皆様方のお役に立てる情報を提供すると共に、皆さまと共に地域社会に貢献したいと思っております。今後とも宜しくお願いいたします。

【情報】

集成材建物見学会が行われます。

日時 平成 14 年 4 月 5 日 (金) AM 10:00~11:00

場所 県森連隼人木材加工センター

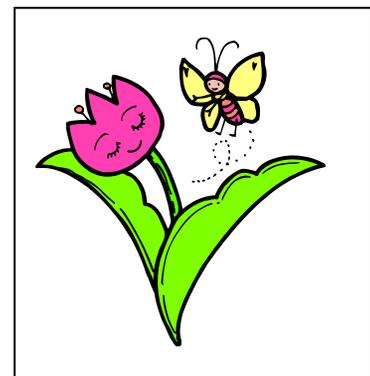
申込先 (株)鹿児島建設新聞

定員 50 名

【定休日】 4 月は 6, 7, 13, 14, 20, 21, 27, 28 日となります

5 月は 4, 5, 11, 12, 18, 19, 25, 26 日となります

ご協力をお願いします。



(お問い合わせは、お客様サービス係の東野まで)